

出展イメージ別の考え方

別添3



ガーデン型

葉の表情や花の色合いを生かし、ガーデンファニチャーと組み合わせることで、花と緑に包まれる「五感で感じる庭」が生まれます。そこに“季節のうつろい”や“プロフェッショナルならではの技”を織り込みながら、鉢植えや切り花を自由に取り入れ、来場者を魅了する“秘密の花園”をぜひ創り上げてください。



パネル＋実物＋体験型

出展内容がパネルや機材・資材の展示や技術の紹介が主になる場合も、随所に花や緑を取り入れた表現をお願いします。パネルの周囲に季節の花を添えて展示といった小さな工夫でも、来場者は「技術・知識」と「花緑の魅力」を同時に感じることができます。展示全体が彩りにあふれることで、週ごとのテーマや世界観にも自然に調和し、来館者の満足度も高まるでしょう。



作品展示型

いけばな、フラワーアレンジメント、押し花など、花・緑によるアートや芸術作品の世界を表現してください。また、作品の特性に応じて、従来の伝統的な手法を尊重しつつ、ダイナミックな見せ方や新しい展示手法を取り入れることも歓迎します。多様な展示表現を通じ、魅力的な展示空間を創出しましょう。



農産物展示型

食材としての野菜や果実のフォルムや色合いなど、「自然が生みだした造形の美として味わう」世界を表現してください。水と大地と季節が織りなす野菜や果実の造形の力にふれることで、“収穫の喜び”と野菜や果実の“美しい姿かたち”を来場者と共有する機会を提供しましょう。

